



Digital Garage

平成27年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成26年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 デジタルガレージ

コード番号 4819 URL <http://www.garage.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 林 郁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレートストラテジー本部 (氏名) 曾田 誠

TEL 03-6367-1111

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第1四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第1四半期	8,126	11.7	398	359.4	1,173	147.7	780	100.5
26年6月期第1四半期	7,273	37.0	86	—	473	183.4	389	82.3

(注) 包括利益 27年6月期第1四半期 1,103百万円 (39.6%) 26年6月期第1四半期 790百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第1四半期	16.62	16.57
26年6月期第1四半期	8.31	8.27

(注) 平成25年10月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年6月期第1四半期	74,914	37,257	41.2	656.64
26年6月期	71,009	36,489	42.9	648.06

(参考) 自己資本 27年6月期第1四半期 30,866百万円 26年6月期 30,442百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年6月期	—	—	—	—	—
27年6月期(予想)	—	0.00	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 27年6月期(予想)の期末配当金7円00銭は、普通配当5円00銭と創立20周年記念配当2円00銭の合計額であります。

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	18.5	4,500	72.5	6,700	50.8	4,000	40.5	85.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期1Q	47,262,800 株	26年6月期	47,230,800 株
② 期末自己株式数	27年6月期1Q	256,800 株	26年6月期	256,800 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期1Q	46,981,808 株	26年6月期1Q	46,875,404 株

(注)平成25年10月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

・四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、円安の定着及び企業収益の改善に支えられて緩やかな回復基調にありますが、消費税率引き上げ後の個人消費の持ち直しの動きは鈍く、先行きは不透明な状況となっております。一方で、当社を取り巻くインターネット及びブロードバンド関連の環境につきましては、平成26年6月末時点で固定系ブロードバンド契約数が約3,600万とインターネットを利用する機会が広く普及しており、スマートフォンやタブレットの利用者の増加により移動系超高速ブロードバンド契約数は約3,653万となるなど継続的な拡大基調にあります。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、マーケティング事業、ペイメント事業及びインキュベーション事業のすべての事業において売上高及び営業利益が対前年同期比で増加した結果、連結売上高は8,126百万円（対前年同期比853百万円増、同11.7%増）、営業利益は398百万円（対前年同期比311百万円増、同359.4%増）となりました。また、持分法による投資利益431百万円の計上等により、経常利益は1,173百万円（対前年同期比699百万円増、同147.7%増）、四半期純利益は780百万円（対前年同期比391百万円増、同100.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔マーケティング事業〕

マーケティング事業では、ウェブとリアルを融合した総合プロモーション及びインターネット広告等のウェブマーケティングを行っております。また、ビッグデータを活用したデータマネジメントビジネスにも取り組んでおります。

インターネット広告・プロモーションを手掛ける当社ディージー・アンド・アイベックスカンパニーにおいて、引き続き好調なアフィリエイトマーケティング等のパフォーマンスアドに加えて、スマートフォン向けの広告販売も拡大した結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,669百万円（対前年同期比600百万円増、同19.6%増）、営業利益は245百万円（対前年同期比109百万円増、同80.2%増）となりました。

〔ペイメント事業〕

ペイメント事業におきましては、Eコマース（EC）における決済ソリューションの提供を行っております。

日本国内で決済事業を展開するペリトランス(株)及び(株)イーコンテクストにおいて、決済の取扱件数、取扱高が堅調に伸長し、また、econtext Asia Limitedの株式公開に係るコストの発生が一巡した結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,421百万円（対前年同期比144百万円増、同4.4%増）、営業利益は316百万円（対前年同期比112百万円増、同55.2%増）となりました。

〔インキュベーション事業〕

インキュベーション事業では、国内外のベンチャー企業への投資及びマーケティングや決済といった当社グループ内の事業との連携による投資先の育成などを行っております。また、米国サンフランシスコを拠点に、ソフトウェア開発支援やデザインコンサルティングを手掛けております。

ベンチャー企業への投資を行う(株)DGインキュベーションにおいて、保有株式の売却による利益が対前年同期比で増加した結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,035百万円（対前年同期比108百万円増、同11.7%増）、営業利益は78百万円（前年同期は営業損失77百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べて3,258百万円増加し、48,714百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が1,132百万円、決済事業に係る金銭の信託が1,928百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べて645百万円増加し、26,200百万円となりました。この主な要因は、持分法による投資利益の計上等により投資有価証券が807百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて5,293百万円増加し、30,754百万円となりました。この主な要因は、短期借入金が1,700百万円、1年内返済予定の長期借入金が3,986百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べて2,156百万円減少し、6,902百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が2,216百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて767百万円増加し、37,257百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が四半期純利益の計上により780百万円増加した一方、剰余金の配当により234百万円減少したことによるもののほか、少数株主持分が339百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年6月期の通期の連結業績予想につきましては、平成26年8月13日に発表致しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,294,997	25,427,092
金銭の信託	889,164	2,817,694
受取手形及び売掛金	3,658,527	3,356,042
営業投資有価証券	8,063,977	7,766,057
投資損失引当金	△488,652	△407,135
商品	1,080	687
仕掛品	18,591	166,979
原材料及び貯蔵品	1,446	1,081
未収入金	8,596,697	9,138,846
その他	434,265	462,491
貸倒引当金	△14,836	△15,674
流動資産合計	45,455,259	48,714,163
固定資産		
有形固定資産	2,158,533	2,142,389
無形固定資産		
ソフトウェア	1,210,198	1,237,894
のれん	7,354,590	7,173,211
その他	23,121	23,549
無形固定資産合計	8,587,910	8,434,655
投資その他の資産		
投資有価証券	10,644,406	11,451,845
その他	4,232,092	4,234,540
貸倒引当金	△39,245	△39,245
投資損失引当金	△29,237	△24,014
投資その他の資産合計	14,808,016	15,623,125
固定資産合計	25,554,459	26,200,170
資産合計	71,009,719	74,914,333

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,629,586	1,616,315
短期借入金	3,300,000	5,000,000
1年内返済予定の長期借入金	390,686	4,377,124
未払法人税等	1,241,682	247,484
賞与引当金	147,757	28,210
預り金	16,434,414	17,160,862
その他	2,317,035	2,324,706
流動負債合計	25,461,162	30,754,703
固定負債		
長期借入金	8,841,160	6,624,943
退職給付に係る負債	89,152	79,865
その他	128,486	197,744
固定負債合計	9,058,799	6,902,553
負債合計	34,519,961	37,657,257
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,399,002	7,415,731
資本剰余金	10,817,448	10,718,687
利益剰余金	9,615,957	10,138,147
自己株式	△69,840	△69,840
株主資本合計	27,762,568	28,202,725
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,193,931	2,112,434
為替換算調整勘定	485,678	551,077
その他の包括利益累計額合計	2,679,609	2,663,512
新株予約権	141,121	145,020
少数株主持分	5,906,458	6,245,818
純資産合計	36,489,758	37,257,076
負債純資産合計	71,009,719	74,914,333

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
売上高	7,273,087	8,126,878
売上原価	5,880,361	6,253,698
売上総利益	1,392,725	1,873,179
販売費及び一般管理費	1,306,052	1,475,043
営業利益	86,673	398,136
営業外収益		
受取利息	2,671	4,260
持分法による投資利益	400,057	431,355
為替差益	—	297,361
その他	66,450	121,963
営業外収益合計	469,178	854,941
営業外費用		
支払利息	20,685	23,680
不動産賃貸原価	41,540	54,948
その他	19,917	921
営業外費用合計	82,143	79,550
経常利益	473,708	1,173,527
特別利益		
投資有価証券売却益	116,396	33,943
その他	6,966	5,222
特別利益合計	123,362	39,165
特別損失		
固定資産除却損	1,290	—
投資損失引当金繰入額	4,308	—
その他	707	21
特別損失合計	6,306	21
税金等調整前四半期純利益	590,764	1,212,671
法人税、住民税及び事業税	160,327	258,954
法人税等調整額	18,810	47,495
法人税等合計	179,137	306,449
少数株主損益調整前四半期純利益	411,627	906,222
少数株主利益	22,300	125,572
四半期純利益	389,327	780,650

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	411,627	906,222
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	228,278	△81,477
為替換算調整勘定	150,816	272,582
持分法適用会社に対する持分相当額	—	6,584
その他の包括利益合計	379,095	197,689
四半期包括利益	790,722	1,103,912
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	769,486	764,552
少数株主に係る四半期包括利益	21,235	339,359

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	マーケティング事業	ペイメント事業	インキュベーション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,068,744	3,277,030	927,312	7,273,087	—	7,273,087
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,880	3,985	—	9,866	△9,866	—
計	3,074,624	3,281,015	927,312	7,282,953	△9,866	7,273,087
セグメント利益又は 損失(△)	136,077	203,648	△77,640	262,085	△175,411	86,673

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△175,411千円には、セグメント間取引消去141,740千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△317,152千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	マーケティング 事業	ペイメント 事業	インキュベ ーション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,669,637	3,421,327	1,035,913	8,126,878	—	8,126,878
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,254	657	—	3,912	△3,912	—
計	3,672,891	3,421,985	1,035,913	8,130,790	△3,912	8,126,878
セグメント利益	245,233	316,079	78,687	640,000	△241,864	398,136

(注) 1. セグメント利益の調整額△241,864千円には、セグメント間取引消去91,561千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△333,425千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。